

令和7年度 自己評価書

学校名	和歌山市立和歌山高等学校(全日制)
校長氏名	岩本 信哉
作成日	令和8年 2月 6日

1 教育目標

人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成に努める 【目指す生徒像】	・高校生にふさわしい学力を身に着けた生徒 ・強い身体とたくましい心をもつ生徒	・表現力、人間性が豊かな温かい生徒 ・地域や学校に誇りをもつ生徒
-------------------------------------	-------------------------------------------	-------------------------------------

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・わかる授業、生徒主体の授業を 実践したと思う(生徒・教師90%)	・学校が楽しいと感じる(生徒 90%) ・いじめの解消率(100%)	・朝ごはんを食べた(生徒100%) ・遅刻による指導件数(前年比- 30%)	・学校の様子がよく伝わった(保護 者90%)
重点目標	・基礎・基本の確かな定着 ・自らの進路に向け意欲的に学ぶ 習慣の確立 ・読書活動の推進	・道徳・人権教育の充実をはかり、 人権感覚向上の推進 ・いじめの未然防止、早期発見 ・仲間づくりの実施	・体力向上の推進 ・自らの人生を充実させるための 生活習慣の確立 ・危機回避能力の育成	・家庭・地域との連携充実 ・運営協議会の意見を尊重した学校 づくり ・地域の資源活用の推進
取組の 状況【D】	・模試の受験を計画的に促し、より 客観的に学力を把握できるよう 取り組んだ。 ・外部講師などを有効に活用し、 早期から進路目標の設定や学習 意識の向上を図った。 ・土曜講座での補習、入試対策講 座や映像講座を通して、学習指導 の充実を努めた。 ・家庭学習の一環として、動画配 信の強化を進めた。 ・大学との連携により、大学教授 を招いて小論文指導や自己PR講 座を定期的実施した。	・登校指導を実施し、服装の点検 や交通安全マナーについての指 導に取り組んだ。 ・SNSの適切な利用に関する指導 を行った。 ・教育相談週間を設け、生徒の相 談体制を整えた。 ・年間計画の中に、複数回のボラ ンティア活動を組み込むことが できた。	・「早寝・早起き・朝ごはん」の励行 を呼びかけた。 ・避難訓練や交通安全教室を実 施し、危険回避能力の育成に努 めた。 ・保健室だよりなどを通して、感染 予防や歯磨き指導など健康面 での注意点を定期的に生徒へ周知 した。	・生徒の活動の様子を「マンスリー タイム」として積極的にホームペ ージで発信し、情報提供の充実を 図った。 ・進路指導・生徒指導・人権教育、 また総合ビジネス科・デザイン表 現科・普通科の授業において、 外部講師を活用し、指導内容の 充実を努めた。 ・高大連携事業を積極的に取り入 れた。 ・地域や関係者からの協力を得 て、市高デパートを実施した。
取組の 成果と課題 【C】 評価結果	・公開授業や相互参観は、着実に 取組が進み一定の成果が見られ る。 ・動画教材は、昨年度ほど十分に 準備できなかった。 ・補充学習は実施したが、一部の 生徒にとどまり、全体への広がり が課題である。 ・進路に関する各家庭との情報共 有は、さらなる充実が必要であ る。	・歌と語りによる鑑賞を取り入れた 人権学習は、効果的であった。 ・ボランティア活動を開始できた が、さらなる活性化が必要であ る。 ・清掃活動等は、十分に活発とは 言えない状況である。 ・服装指導は、引き続き徹底が求 められる。 ・SNSの利用には、なお課題が 残っている。	・感染予防の取組は一定の成果 を上げ、早めの学級閉鎖等が効 果的であった。 ・朝食の摂取状況については、生 徒の実態把握が十分とは言え ない。 ・避難訓練は以前より実践的に なってきたが、生徒自身に考え させるなど、さらなる工夫が必要 である。	・学級通信やホームページを活用 し、生徒の活動を積極的に発信 できた。 ・近隣小中学校や育友会との交流 機会は、十分に増やすことが できなかった。 ・保護者や地域への発信は行っ ているが、関心を高める点に 課題がある。 ・市高デパートでの対面販売等 を通して、地域との交流を深 めることができた。
改善 方法【A】 次年度に 向けての	・研究授業のさらなる充実に取り 組む。 ・普通科の映像講座・土曜講座 は、内容や方法の早急な検討が 必要である。 ・早期の進路決定に向け、ガイ ダンスや講演・助言の一層の 充実を図る。 ・タブレット活用のさらなる 推進に取り組む。 ・大学との連携を一層強化する。	・より積極的なボランティア活動 の推進に取り組む。 ・継続的に登校時の声かけや身 だしなみに関する指導を行う。 ・SNS利用の留意点について 継続して指導し、より具体的 な内容へと充実させる。 ・生徒の心に響き、人権意識 を高める視聴覚教材のさら なる発掘に努める。	・地震・津波や大雨災害等を 想定し、生徒自身が考えて行 動できる、より実践的な 避難訓練を実施する。 ・保健だより等を活用し、感 染予防や疾病対策の充実を 図り、健やかな体づくりを 推進する。	・学校運営協議会での議論を 踏まえ、学識経験者や地域 住民、保護者と連携した 学校づくりに努める。 ・生徒会活動や市高デパート を学ぶの機会として捉え、 地域貢献の在り方や教育的 効果、開催形態について 改善・研究を進める。 ・スマートフォンで見やすい 学校ホームページの開発を 進める。

3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌等の組織体制を見直し、効率的な学校運営と教職員の主体的な参画意識の向上を図る。 ・学科の教育内容や取組の在り方を検証・見直し、教育活動の充実を図る。 ・校務支援システムを積極的に活用し、校務の効率化を図る。
